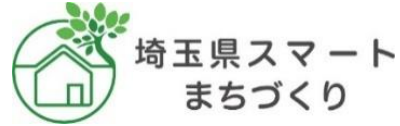
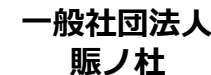
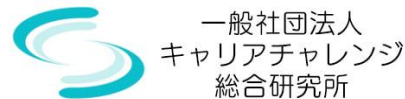


「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

構成メンバー(16者)



JAKUETS



部会における背景・課題、目的

【背景・課題】

大宮公園は、1885（明治18）年の開設の130年を超える歴史ある公園。

近年は、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力の創出が課題。



平成30年にアオコが大量発生

【目的】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、舟遊池の水質改善と自然環境の再生・保全を図るとともに新たな賑わい創出に取り組む。

部会で実施した事業・取組等

《かいぼりの実施》

かいぼりの手順と取り組み

10月3日から



- ・ボランティアリーダー「大宮池守」育成
- ・親子向けワークショップ



11月3日, 4日
大掻掘まつり



- ・「大掻掘まつり」



3月まで



- ・自然観察「池底ウォーク」
- ・植物・生き物生息環境整備「浅場づくり」



3月末から



- ・「大宮池守」による水辺再生・保全
- ・池の利活用

「大宮公園大掻掘まつり」

ボランティア参加人数 322人 2日間合計延べ



ボランティアと見学者



大宮池守の皆さん

(主な在来種)

- モツゴ 数万匹
- スジエビ 数千匹
- ギンブナ 数百匹
- ナマズ 数匹

(主な外来種)

- カダヤシ 数十匹
- アメリカザリガニ 数匹
- コイ(白鳥池に入れたまま) 数匹
- アリゲーターガー 1匹 (後日捕獲)



ナマズ

コイ



アリゲーターガー



魚等捕獲の様子



仕分けの様子

舟遊池 水を抜く前(9月)と後(11月)



before



after

ブース出店 23団体 44ブース 2日間合計延べ



賑わうキッチンカー



体験ブース

浅場づくり ～植物や生き物の生息環境をつくる～

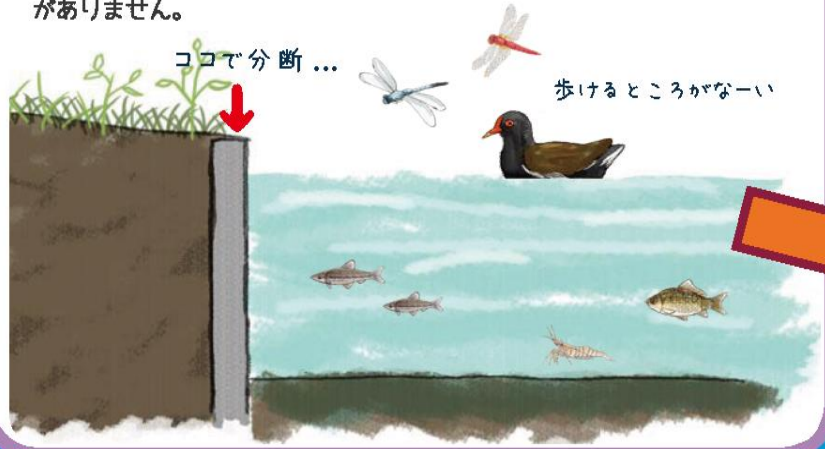
生きもの豊かな
池の再生をめざして

浅場を整備しています

陸地と池の間にある、水深の浅い湿地は、稚魚や水生昆虫、湿生植物など、たくさんの生きものがすむ場所です。生きものが豊かな水辺を再生するために、池底の泥を岸に寄せ、浅場を整備しています。

現在の岸辺

護岸から先は1メートルくらいの深さがあり、池と陸の間がなだらかに変化している移行帯（エコトーン）がありません。



水がひたひたな湿地に！

池底の泥を寄せて段をつくり、湿生植物の生育場所を整備。稚魚や水生昆虫、水鳥などのすみかになります。



都市公園部会における今後の展開

○「大宮池守」による継続的な舟遊池の水辺再生・保全、普及啓発活動



○かいぼり後の舟遊池を活用した賑わい創出 ～貸しボート事業の復活等～



○他公園での新たな検討グループ立ち上げ

○「かいぼり」に次ぐ大宮公園の利活用(賑わい創出)と環境保全に関する多面的取組

大宮公園の利活用(賑わい創出)と環境保全に関する多面的取組

大宮公園を盛り上げるSDGs目標をテーマにしたイベントを一年を通して実施

春

夏

秋

冬

3

すべての人に健康と福祉を



【健康】「みんなでスポ-ツ」

14

海の豊かさを守ろう



【水辺の利活用】「ボ-ト発進」

4

質の高い教育をみんなに



【ゴミ拾い×リサイクル×アート】【NFT】「親子でキャリアチャレンジin大宮公園」

11

住み続けられるまちづくりを



【まちづくり】「避難体験・防災に役立つアウトドアグッズお試し」

11

住み続けられるまちづくりを



【地域創成】「大宮公園で恋の予感」出会いサポ-ト

※表記のイベントはアイデアの一部であり例示です。

舟遊池 池底活用イベントのご案内

大宮公園 池底ウォーク

干し上げ中の池底を歩いて、舟遊池を満喫しよう！
何がみられるかな？観察しながら、池の自然や
かいぼりの取組について学習します。

2023年
2月11日（土）
10時～12時（荒天中止）



自然再生のために体も動かそう！

舟遊池

浅場づくり

干し上げ中の舟遊池で、自然を豊かにする作業をしませんか？池底の泥を運んで植物が生育できる「浅場」を整備したり、泥に埋もれたゴミを掘り出したりします。



埋まっているゴミを掘り出そう！



埃巻や昭和のタイムスリップ？

2023年

- ① 2月23日（木祝）
- ② 3月11日（土）

10時～12時（荒天中止）